

12-18right\_12-18left.JPG 2018/12/26

12-18right

九月

朔日子 雨意夕晴

無記事

二日丑 濃陰午下暴雨一過

横地六弟権八の病越<sub>を</sub>を賀し、無<sub>見</sub>舞に鯉一尾を遣す

三日寅 濃陰雨数過

無記事

四日卯 雲 □温計 八十五度(撰氏 29.4度)

叔母孫女りう百ヶ日法会に付、団<sub>糕</sub>贈らる、文次爺来り冬瓜二を差越す

五日辰 陰午下晴雲

六日巳 薄晴午下震

12-18left

醬油杜氏より豆納豆一苞届越す、下総辻より、同村神事ありとて赤飯一重、小雑魚少許贈らる、且

常司方より<sub>来</sub>品とて濁醪(どぶろく)一小壺贈らる

七日午 雨終日

無記事

八日未 暴風雨夕漸止、晴

駿州山本長<sub>(\*)</sub>より<sub>附</sub>急便状来る、太郎一書を<sub>し</sub>、諸国経歴に出行衛不知<sub>申</sub>越直に返書遣し、一兩日中出急の積り申遣す

九日申 陰午下小雨

無記事

十日酉 陰漸に薄夕晴

「上総出立」叔母より大作方へ届状弔書托せらる、妻より<sub>衛</sub>一書遣す、朝第七時半出立(常奴従ふ)、東京迄八蔵同行

\*0:人名(常司/順司?)

\*a:駿州山本長、清水の次郎長?山本長五郎が本名

□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読はできません。